

あの頃のことを是非とも書き残しておこう。誰のためではなく自分自身の存在確認のためだ。なかなかその導入部は難しい。70年も前にもなると当時の語り部は自分以外にいないようである。歳月ははるかに早く流れ去った。私の誕生を喜んだ母親の背中感覚や懐に大切に抱かれて乳房をまさぐった両手の記憶も全く忘れ去った。

### 青島市

1942年9月6日に私は青島で生まれた。時間と場所は親から聞いていないが場所は青



島の日赤病院らしい。当時の青島では多くの在留邦人が住んでいたから日系の大病院といえば日赤病院だった。青島は中国の山東半島にあり東シナ海に位置する港湾都市である。正確には青島市（チンタオ）、ローマ字で(Qingdao)と綴る。現在は中華人民共



和国山東省に位置する海洋産業の中心都市であり、東部沿岸の重要な経済と文化の中心として発展している。また中国人民解放軍海軍北海艦隊司令部のある軍港として有名であり中国初の空母『遼寧(りょうねい)』が母港としたことでも知られて

いる。近年、中国最大の家電メーカーとなったハイアール（海爾集団）や中国最大



のテレビメーカーであるハイセンス（海信集団）も青島を本拠とする。

私が生れた1940年代では青島がこのように大都会に発展するなど想像もできなかった。



生まれ故郷が立派な都市に大変貌したことは嬉しくもあるが他方で古いものが無くなり望郷の痕跡が残っていないようで寂しい。

### 青島ビール

日本人は青島と聞くと宮崎県にある観光地を想像するだろう。中国人でも青島市がどこにあるのか正確にはいえない。しかし「青島ビール」を知っていますかと、問うと中国人ならばだれでも知っている。最近では日本の中華料理店でも「青島ビール」がおかれてい



る。それほど「青島ビール」は有名なのである。ドイツ風ラガータイプの味だ。「青島ビール」は青島がドイツ植民地であった1903年にドイツ人が開業したビール製造所で誕生した。中国は2004年時点で世界最大のビール生産国となった。早くから「青島ビール」が中国で飲まれ、ビールの味を知ったからだろう。「青島ビール」は今では世界的なビールなのでロンドンでもボストンでも飲める。



私の生まれ故郷を説明する時、「青島ビール」の中国の青島ですと自慢して、この物語を話している。

写真右は4歳頃の私で友達と手をつないでいる。戦時中であつたが平和だった。

## 青島の歴史

青島は、北京や上海など数千年の長い歴史を持つ他の中国の都市に比べると新しく、僅か150年の歴史しかない。もともと小さな漁村群にすぎなかった地域が19世紀末の西欧



諸国による中国侵略の企てによって注目されることになった。西欧列国による中国侵略の始まりである。既に英国はアヘン戦争によって香港を割譲、それ以前には16世紀のポルトガルのマカオ支配などの例もある。フランスはインドシナと呼ばれたベトナムを領有したが直接中国本土を侵略しなく山東半島の威海衛を狙っていた。ロシアは中国の沿岸地域への進出よりも内陸から満州やシベリア沿海州、蒙古や新疆地区に狙いを定めていた。最も遅れたのはドイツであった。ドイツは統一国家の達成に長く苦労したからだ。その功労者



はプロイセンのビスマルクであることは有名である。ドイツにとり中国進出は悲願であったが、なかなか容易に他の列強諸国のように割り込むことができなかった。そこで選ばれたのが山東半島の威海衛付近である。まず占領の理由をデッチあげた。それは山東省で布教していたドイツ人神父が殺害されて、その原因究明をするというものであった。アヘン戦争で英国が行った戦略を真似て1897年にドイツ軍艦を派遣し、小さな漁村を占領した。当時、中国は日清戦争で負けて国威も衰退していたし、ドイツは三国干渉で中国に恩を売っていたから侵略も容易であった。その結果1898年には膠州湾を99年間の租借地とした。そこにドイツ東洋艦隊の軍港が建設された。ドイツはこの地を極東における本拠地とし、鉄道敷設権と鉱山採掘権などを通じ山東半島一帯を勢力下に置いた。写真はドイツ総督府の建物で今でも残っている。写真右は母親トミから母乳を与えられてご機嫌な私である。トミの乳房を独り占めしていた。太っていて健康優良児だった。

## 日本の支配



青島はドイツ植民地として街路樹、上下水道などが整えられ、西洋風の町並みで他の中国沿海部の都市とは異なっていた。ドイツ文化が定着し青島ビールなどドイツが与えた影響は大きい。ドイツ人を主体にして白系ロシア人も多数住んでいた。白系ロシア人は1917年のロシア共産主義革命を逃れたブルジョア階級の人々のことであり、共産主義者やそのシンパなどを赤系ロシア人という。白系ロシア人は満州や上海地区そして青島に亡命生活をしてい



たから、彼らが開いたレストランやパン屋、お菓子屋やカフェなども多く青島はヨーロッパの町のような雰囲気だった。では何故、日本が青島を支配できたのだろうか。第一次世界大戦でドイツに宣戦布告した日本は1914年膠州湾のドイツ要塞を陥落させて占領下に置き、1922年に中国に返還した。その後になり蒋介石による国民党政府は1929年青島特別市を成立させ、1930年青島市と改称した。1937年日中戦争が始まると、青島は再び日本軍の占領下に置かれた。写真右は母親トミに抱かれる私と左は父親

トムジである。後ろに立っているのはトミの姉妹スミコ(5人姉妹の次女)で、私の誕生を祝うため、そして産後のトミを介護するために日本から来てくれた。スミコ叔母は大変気丈でしっかり者であったからトミは大いに頼りにしていた。

### 第一次世界大戦と青島

第一次世界大戦は1914年7月28日から1918年11月11日にかけて、連合国対同盟国の戦闘により繰り広げられた世界大戦である。主にドイツと英国が戦った



がドイツ側にオーストリア・ハンガリア帝国、英国側にフランスやロシアも参戦し後になり米国も英国側に加わった。そして日本は日英同盟に基づき英国側に加わった。オスマン・トルコもドイツ側に加わり最初はヨーロッパ大陸の戦いであったが中近東、やがては極東アジアにまで戦線は拡大していき世界大戦となった。日本は遠くヨーロッパには参戦しなかったが、海軍を地中海の英国領マルタ島まで派遣した。日本軍の戦場はドイツ植民地である青島と南太平洋の小さな島々であった。1914年に青島のドイツ軍基地の砲台などを日本軍は初めて航空機によって空襲した。青島攻略は圧倒的な日本軍の勝利で終わった。この戦いで多くのドイツ兵は日本の俘虜になった。



として日本は日英同盟に基づき英国側に加わった。オスマン・トルコもドイツ側に加わり最初はヨーロッパ大陸の戦いであったが中近東、やがては極東アジアにまで戦線は拡大していき世界大戦となった。日本は遠くヨーロッパには参戦しなかったが、海軍を地中海の英国領マルタ島まで派遣した。日本軍の戦場はドイツ植民地である青島と南太平洋の小さな島々であった。1914年に青島のドイツ軍基地の砲台などを日本軍は初めて航空機によって空襲した。青島攻略は圧倒的な日本軍の勝利で終わった。この戦いで多くのドイツ兵は日本の俘虜になった。

### 板東俘虜収容所

ドイツ軍俘虜の多くは四国徳島にある板東俘虜収容所に送られ、1919年のベルサイユ条約締結まで収容された。俘虜4715人のうち、約1000名が板東俘虜収容所に1917年から1920年まで生活していた。収容所長は松江豊寿



陸軍中佐という人物で、彼らの自主活動を奨励した。彼は俘虜に対する公正で人道的かつ寛大で友好的な処置を行ったとして知られている。

板東俘虜収容所を通じてなされたドイツ人俘虜と日本人との交流が、文化的、学問的、さらには食文化に至るまであらゆる分野で両国の親善を促した。俘虜の多くは志願兵となったドイツの民間人で、彼らの職業は家具職人や時計職人、楽器職人、写



真家、印刷工、製本工、鍛冶屋、床屋、靴職人、仕立屋、肉屋、パン屋など様々であった。彼らは自らの技術を生かし製作したものを近隣住民に販売するなど経済活動も行い、ヨーロッパの優れた手工業や芸術活動を披露した。また、建築の知識を生かし小さな橋まで作ってドイツ橋と呼ばれた。それは今でも現地で大切に保存されている。文化活動も盛んで、同収容所内のオーケストラは高い評価を受けた。ベートーヴェンの交響曲第9番が日本で初めて全曲演奏されたのも、板東収容所だった。1919年に多くのドイツ捕虜は帰国したが、数名の俘虜が日本に残った。彼らは日本が大好きになったのである。そして日本婦人と結婚したものもいた。そして神戸に住みドイツ菓子屋を開いた夫婦もいた。そこで売られたドイツ菓子がバームク



一ヘンである。当時、既に白系ロシア人も神戸で西洋菓子屋を開いていた。その店の名はロシア貴族モロゾフという名前だった。神戸の異国情緒ある街並みが彼らにとり居心地がよかったのだろう。余談であるが栄子の母親トシの鎌倉彫の先生はバード先生というが、夫君はドイツ人の俘虜だったと聞く。ドイツ人は俘虜になっても自尊心があり中国でも尊敬されたのである。

### ドイツ風の鉄の門がある自宅

自宅はドイツ人町の一角にあった。大きな鉄製の門と鉄格子のような塀、白い2階建ての大きな屋敷だった。写真右は門の前で写されたものである。写真左は2015年に70年振りに訪れた時のものである。自宅と事務所は同じ場所にあった。支店の関係者のみなさんと母親が抱えている私も映っている。中国人のみなさんの中には中国服を着た人もいる。2階まで煉瓦作りの外階段で登っていく。この階段からよちよち歩きの小さな足が外れて転げ落ちたことがあった。階段は中庭から上り下りしていたので毎日の生活の中



心だった。数々のエピソードもここで起こった。愛犬シェパードの餌の入った洗面器が置かれていて毎朝残り飯を与えていた。ある日の朝、私は愛犬シェパードと一緒にその餌を食べていた。大きな洗面器に愛犬と共に顔を付けあい仲良く餌にありついた。その場所で毎日、私は中国人女中の姑娘(クーニャン)によって大事に抱えられ子守りされた。

写真右は二歳になり端午の節句でニコニコと笑い可愛い。お洒落な帽子をかぶってご機嫌である。この写



真は愛犬シェパードと餌の入っている洗面器を仲良く一緒に食べた頃だろう。トムジが大切にしていたドイツ製カメラ、「ライカ」を持っている。軍帽を被っているから戦局は悪化した1944年頃だろう。内地

の各地が空襲を受けて悲惨な状況であったが青島はまったく平穏であった。1944年7月、サイパン島では3万の日本軍守備隊が全滅した。8月にはテニアン島の戦いによってテニアン島が、グアムの戦いによってグアム島が占領された。アメリカ軍は日本軍が使用していた基地を即座に改修し、大型爆撃機の発着が可能な滑走路の建設を開始した。日本列島のほぼ全土がB-29の爆撃可能圏内に入った。

### 抗日デモを見た

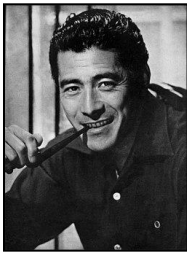
ある時、遊んでいたら多数の中国人が行列を作り何やら大声で叫んでいた。怖くなりレンガ塀の後ろに隠れて彼らの行動を見ていた。これは青島の抗日デモであった。19



44年になり日本の敗戦も近いと感じた中国の若者が日本に対し抵抗を示すものだった。青島は、抗日デモをいち早く実行した歴史がある。青島で勝利した日本は1915年1月18日中国に対し21か条の要求を突きつけた。その影響で五四運動というのが1919年5月4日に北京で発生し、中国全土に広がった。これが有名な抗日運動である。

### 青島生まれの有名人

意外な人物が青島で生まれた。映画俳優の**三船敏郎**である。1920年4月1日に生まれたという。彼は軍隊生活を送った後、1947年（昭和22年）に東宝ニューフェイス第1期生として入社し『銀嶺の果て』で映画デビューした。それから『酔いどれ天使』で黒澤明とコンビを組んで『羅生門』『七人の侍』『蜘蛛巣城』『用心棒』など名画で活躍した。



**中村八大**は1931年、青島にて誕生した。父親は青島の日本人学校で校長を務めており、自宅にはピアノや蓄音機、レコードなどがある恵まれた音楽環境であった。坂本九の歌った『上を向いて歩こう』、『こんにちは赤ちゃん』、『遠くへ行きたい』、『明日があるさ』など、1950年代末から1960年代にかけての数々のヒット曲を作曲した。



日本文学者の**ドナルド・キーン**は2019年2月に亡くなった。彼は青島と戦時中に関係があった。写真右はキーンが日本語通訳として軍務した頃の写真である。青島の終戦は日本が中国に降伏した結果でなかった。意外なことに日本軍はアメリカ軍に降伏した。当時の青島駐留の日本軍の長野栄二少将は青島に上陸した米軍のレミュエル・シェファード少将との間で降伏式を行った。その後になり青島は米国西太平洋艦隊の司令部所在地となった。ドナルド・キーンは日本語情報将校として青島に上陸したことを自分の履歴の中で触れていた。

### 敗戦と収容所生活

1945年8月6日に原子爆弾が広島に投下された。16万人が即死したという。続いて8月9日には長崎にも原子爆弾が投下された。7万人が爆風で亡くなった。そして1945年8月15日に日本は「ポツダム宣言」を受け入れて無条件降伏した。これで太平洋戦争は終結し、長かった第二次世界大戦も終わった。



青島は一回の空襲もなく平穏であったが終戦によって日本人の生活は一変した。勝利者である中国人から復讐とも思える報復を受けた。しかし満州や他の中国地区とは全く異なって極めて安全であった。それはアメリカ軍に降伏したことで治安は完ぺきだった。アメリカ海軍が青島に上陸して日本軍の武装解除を行ったからだ。日本人の民間人は全ての財産を没収された。住んでいた家屋も接収され特定の場所に移動させられた。多くの日本人は手荷物だけで収容所に送られた。私は母親トミと二人だけで、婦女子たちの集団と一緒に収容所に入れられた。父親トムジは民間人であったが男であったか



ら家族から分けられ別の収容施設に送られた。幸いにして青島は共産軍(八路軍)や国民党(蒋介石政権)など中国人の武装組織の侵入もなく、紳士的なアメリカ軍が占領したので安全だった。それに比べてソビエト・ロシアが侵入した満州では日本人は悲惨だった。幼少ながら覚えている中国語は、「パーロライラ」という言葉だ。「パーロ」とは「八路軍」のことで「ライラ」とは「来る」という意味であるから「八路軍が来るぞ」となる。中国人にとって解放軍が助けに来てくれるという希望の言葉だった。八路軍は日中戦争時に華北方面で活動した中国共産党軍(紅軍)の通称である。1937年、紅軍が国民革命軍第八路軍として国民政府指揮下に編入されたことからこの名称で呼ばれた。現在の中国人民解放軍の前身といえる。1945年から中国では国共内戦が激化した。1947年まで続き、最後は毛沢東率いる共産軍が勝利した。今の中華人民共和国の誕生となる。

### 天津の収容所と引き上げ船

1946年、終戦の翌年1946年まで約一年間、私と母親トミの二人は多くの日本人婦女と共に天津で収容所生活を余儀なくされた。レンガ造りの大きな倉庫だった。日本からの引き上げ船を待つためである。敗戦の日本には遠洋航海で使える船など残っていなかった。赤十字船として撃沈をまぬがれた「興安丸」は旅順や釜山などから舞鶴まで満州東北地区の引揚者を運んでいた。青島や上海など華中にいた日本人まで船の便をまわす余裕がなかった。ひたすら船を待つ母子2人は望郷



の念を励みに心細い、不便な収容所生活を送った。トミからその頃の辛い話は一切聞いたことがない。語りつくせぬ苦労があったのだろう。

1946年の秋だったと思う。日本から引き上げ船が来るという嬉しいニュースが広まった。天津の収容所から港のある「塘涸(タンクー)」まで移動させられた。長い行列を作り、手荷物を大切に持ち、私は小さなリックサックを背負い歩いた。迷子にならないようにトミは私の小さな手を固く握っていた。迎えに来た船はアメリカ軍から借りたもので「LST」と呼んでいた。それは人間を運ぶ船ではない。正式には戦車揚陸艦(tank landing ship) と呼び、戦車などを

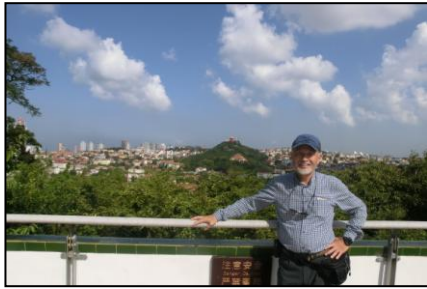


揚陸する戦闘用船舶である。アメリカ海軍の艦種類別記号でば LST (Landing ship, tank) が当てられる。着岸しやすくするために艦体前部の船底は平になっている。この平らな船底という特徴のため、外洋では横揺れがひどく、乗り心地はあまり良くない。着岸点についたら艦首の扉を開けて渡し板を繰り出し、車両・兵員を上陸させる。よく覚えていることは LST の乗り込む時、岸壁と船の間を渡す細い板橋、その真下に覗く海が怖かったことだ。

親切な日本軍俘虜に抱きかかえられて LST に乗ることができた。あの時の日本兵俘虜の規律正しく日本人を面倒みる頼もしい姿を忘れることができない。親子二人は LST の戦車収納場に家畜のように詰め込まれ、船酔いに苦しみながら2日をかけて佐世保に着くことができた。やっと日本に帰ることができた。

佐世保から汽車を乗り継ぎ、トミの実家である富山を目指した。1946年秋に焼け野原の富山に帰還できた。苦難の連続だった。

## 75年振りの里帰り



2015年9月、私は栄子を連れて75年振りに青島を訪れた。出来ることならば母親トミも是非とも同伴したがったが、95歳の高齢になる体では無理だった。懐かしい。涙がこぼれた。75年前にここで生まれて大切に育てられた。心から両親に感謝した。父親トムジは青島で一生懸命に働き私の成長を楽しみにしていた。青島神社や日本人町は残っていなかったがドイツ砲台跡は青島が一望にできる美しい公園になっていた。そこからドイツ風の赤い屋根の家屋が見えた。

私の誕生日9月6日にタイミングを合わせた75年振りの青島だった。こんなにも綺麗な町で生まれ育ったのか。まるでフランスのコートダジュールのようだ。嬉しかった。秋晴れで紺碧の空の下、ドイツ教会の広場は婚約記念のポートレイトを撮る素敵な衣装を着たカップル達で賑わっていた。中国服や人民服など身に着けていない。そんなダサイ衣装はもともと青島には不似合いだ。ソフィストケートな青島は思い出に残る「チントウ」と同じだった。いつもトミが話していた美しい青島に間違いない。かすかに覚えているのは真っ青な海に真っ白な病院船が浮かんでいた。75年もの長い旅だった。その夜、乾杯した青島ビールは実に旨かった。



私のアイデンティティーとは何だったのか。

1966年の大学卒業まで「亀谷孝」であったが、1967年に母親の再婚先の名前である「斉藤孝」に改名した。その後



2002年になり顔にも髭を付け人相までも改造した。変わらないのはカメという愛称だけである。多くの人々から未だ私の正体が明らかにされていない。容貌が加齢も加わり激変したことにもよるだろう。自分は一体何者だったのか。うら若き乙女が「自分探し」にでも出かけたような清々しい時間を青島で過ごせれば素晴らしいと思った。

中国に対して日本人は心の底に憧憬を秘めている。帰りの全日空は日本を観光する中国人で満員だった。私は隣の席に座った青島から来た三人の家族と親しく会話をした。筆談で

始まり途中から中国人アテンダントの通訳の助けによって私たちは大変仲良くなった。日本と中国がいつまでも平和な友人であることを祈りたい。謝謝。